

「熊本県なでしこプロジェクト」 特別協賛のご提案

2020年吉日

一般社団法人熊本県サッカー協会

FIFA女子ワールドカップドイツ2011 優勝



FIFA女子ワールドカップカナダ2015 準優勝



FIFA女子ワールドカップドイツ2019 Best16

海外で活躍するなでしこ選手

宇津木瑠美 (MF) 川澄奈穂美 (FW/MF) 熊谷紗希 (DF/MF)
田中陽子 (MF) 猶本光 (MF) 永里優季 (FW/MF)

3 これからの女子サッカー界

FIFA U-20女子W杯フランス2019 優勝
AFC U-16女子選手権タイ2019 優勝
AFC U-19女子選手権タイ2019 優勝



女子サッカープロリーグの設立構想

①女子サッカープロリーグ設立構想

<新リーグの VISION>

- ◆ 日本の女性活躍社会をけん引する。
- ◆ 日本に「女性プロスポーツ」を根付かせる。
- ◆ 日本のサッカーファミリー拡大と競技力向上に貢献する。
- ◆ なでしこジャパンを再び世界一にする。

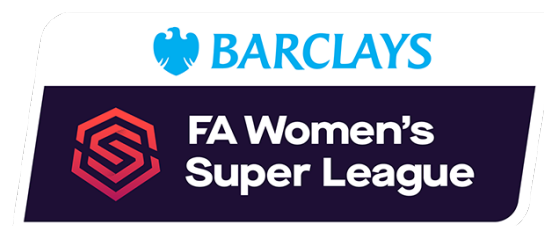
② JFA 内に「設立準備室」を設置する。

2023年、FIFA女子ワールドカップ誘致



世界の女子サッカーリーグ

イギリス、スペインといった欧州の強豪国が、
男子並みの取り組み



なでしこvision 世界のなでしこになる。

「JFAの理念、ビジョン、約束」を実現するために、
そして、女子サッカーを文化にするために、
「世界のなでしこになる。」というビジョンのもと、
日本サッカーに関わる全ての人々が共有し、遂行する、3つの目標を定める。

1. サッカーを女性の身近なスポーツにする。

- ◆ 誰もがサッカーを楽しめ、選手、指導者、審判員など、生涯かかわり続けられる環境をつくる。
- ◆ グラスルーツからトップに至る環境を充実させ、女子サッカーを皆から愛され応援されるスポーツにする。
- ◆ 2023年、FIFA女子ワールドカップを日本で開催し、成功させる。

2030年までに、登録女子プレーヤーを200,000人にする。

2. なでしこジャパンが世界のトップクラスであり続ける。

- ◆ U-20/U-17ワールドカップに出場。ひとつでも多くの試合を経験し、メダルを目指す。
- ◆ ワールドカップ/オリンピックに出場し、優勝を目指す。

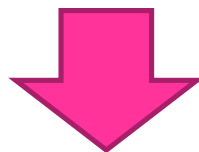
**2020年東京オリンピック、
2023年FIFA女子ワールドカップで優勝する。**

3. 世界基準の「個」を育成する。

- ◆ なでしこジャパンにつながる、タレントの発掘・育成システムを充実させる。
- ◆ 女子サッカーに携わる、特に女性の指導者・審判員の数を増やし、レベルアップを図る。

5 JFA女子普及の目標

- 2023年10万人、2030年20万人を目指す
- 男女比20%を目指す（全国・各FA）
- 年齢別のグラフがきれいな大きな山になるように（各年代のパスウェイをつなげ、大学以降の継続を促進）（全国・各FA）
- 女子の活動環境に女性指導者配置を確保
- 女子サッカー活動に関わる人材（特に女性）増をしながら活動活性化



- ✿ 活動機会の創出（活動環境、ゲーム環境）
- ✿ 指導者の養成、配置
- ✿ プロモーション
- ✿ 制度設計
- ✿ 出会いから登録活動へのギャップを埋める施策（ひろば、登録制度等）で、確実なフォロー、橋渡し

2022年国体(栃木県)から少年女子が創設されます。

現在の中学1年生の女子が対象となり、U-15トレセン、U-12トレセンを充実させる必要があります。2019年度から技術委員会事業に組み込む事になっており、体制の充実を図っています。

熊本県なでしこプロジェクト発足 「栃木国体少年女子出場・Best4」

「過去の結果」

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
開催地	秋 田	大 分	新 潟	千 葉	山 口	岐 阜	東 京	長 崎	和歌山	岩 手	愛 媛	福 井
全国	1回戦敗退			1回戦敗退				1回戦敗退	1回戦敗退			
優勝	兵 庫	埼 玉	岡 山	千 葉	大 阪	宮 城	宮 城	宮 城	三 重	愛媛・新潟	千 葉	三 重
準優勝	三 重	兵 庫	新 潟	岡 山	千 葉	岡 山	兵 庫	愛 媛	東 京	/	愛 媛	岡 山
3位	埼 玉	岡 山	鹿児島	静 岡	岡 山	岐 阜	愛 媛	東 京	宮 城	北海道	静 岡	愛 媛
4位	岡 山	三 重	北海道	三 重	山 梨	愛 知	鹿児島	福 島	長 野	広 島	鹿児島	千 葉
九州 結果	①熊 本 ②福 岡	①福 岡 ②鹿児島 ③佐 賀	①鹿児島 ②福 岡	①福 岡 ②鹿児島 ③熊 本	①鹿児島 ②福 岡	①鹿児島 ②福 岡 ③大 分	①福 岡 ②鹿児島	①福 岡 ②鹿児島 ③熊 本	①熊 本 ①鹿児島	①鹿児島 ①福 岡 ③大 分	①鹿児島 ①福 岡	①鹿児島 ①福 岡 ③大 分

協会一丸でこのプロジェクトを推進

【プロジェクト体制】

委員長 前川隆道(会長)

副委員長 北岡長生(副会長)

副委員長 小野龍男(副会長)

副委員長 今田周作(専務理事)

委員 岩崎珠美(理事:女子委員長)

委員 大石七美(理事:女子普及担当)

委員 中村洋介(常務理事:強化委員長)

委員 甲斐 卓(理事:技術委員長)

委員 井川雄一(特任理事:ユースダイレクター)

委員 時田剛二(2種技術委員長)

委員 技術委員(種別技術委員長)

【事務局】

今田専務理事

松下事務局長

大石理事(女子普及担当)

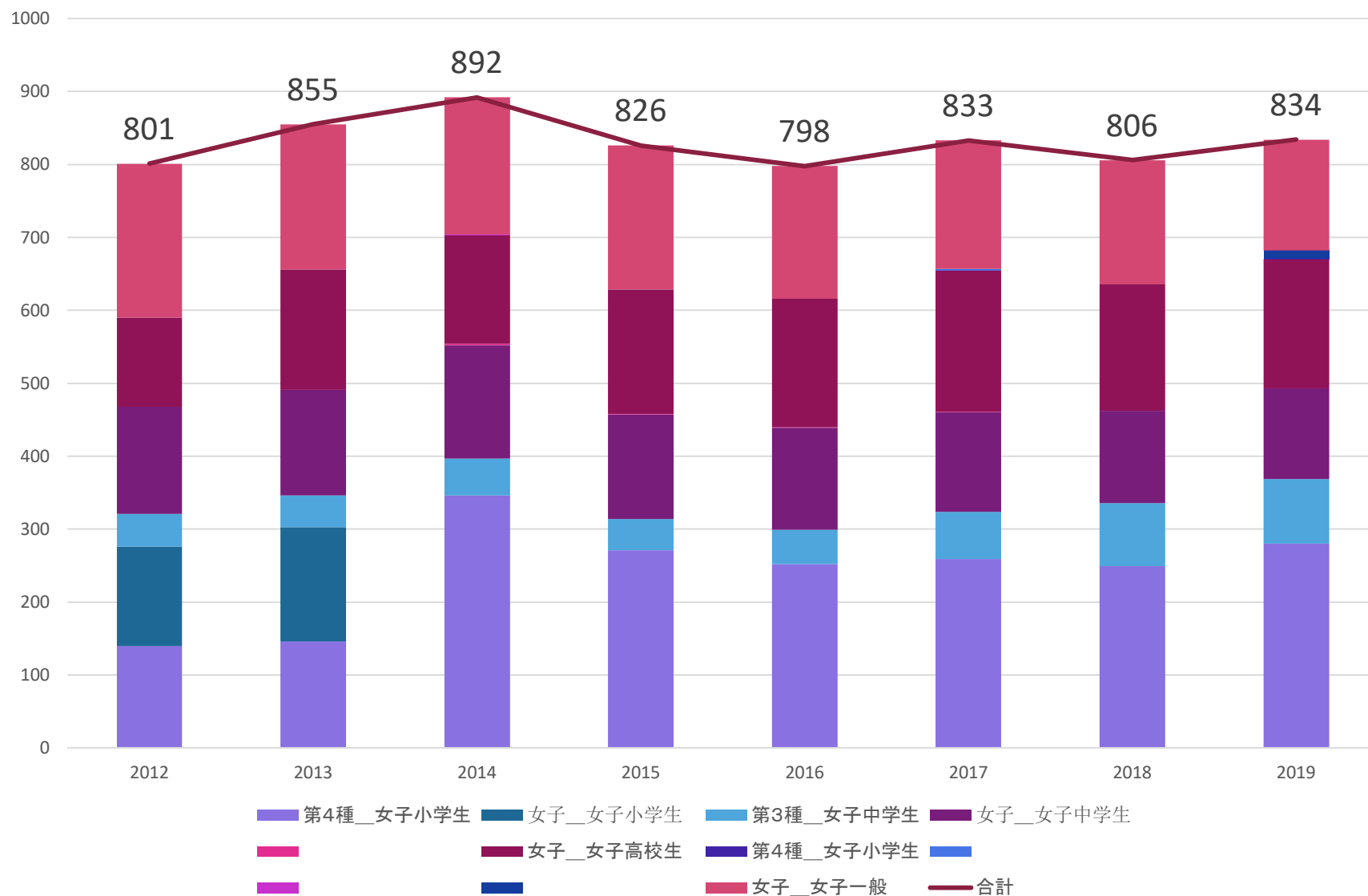
武田常務理事(業務執行委員)

[女子:藤井技術委員長]

U15チーフ:藤井俊寛 U14: U13: U12チーフ:野元恒平

[3種・4種]

3種:高橋技術委員長 4種:野元技術委員長



9 熊本県女子選手人口・家族 ※2019年



一般	高校生	中学生	中学生	小学生	F一般	F小学生
152	177	124	89	280	11	1

熊本県の女子サッカー選手は、834名その内「なでしこプロジェクト」の中心となる中学・小学年代は約500名です。

選手たち保護者の年齢層としては、20代後半～40代だと考えられます。



■ 一般 ■ 高校生 ■ 中学生 ■ 中学生
■ 小学生 ■ F一般 ■ F小学生

834名

834名の女子選手の背景には、
保護者や子ども(ママ選手)、
多くの家族がいます。

熊本県の女子サッカー支援をお願いしたい。一つの大会、活動を支援いただくのではなく
「熊本県なでしこプロジェクト」として
熊本県女子サッカー全体、全選手を支援いただきたい。

「現役選手への支援」・「将来の種まき」
将来の大きななでしこの花を咲かせるため
ご支援ご協力をお願いします。

11 熊本県出身女子サッカー選手・指導者

熊本から多くのなでしこ選手、また将来有望な選手が育っています



氏名 國武 愛美
所属 ノジマステラ神奈川相模原
年齢 22歳
代表歴 なでしこジャパン(2018)



氏名 石田 心菜
所属 セレッソ大阪
年齢 17歳
代表歴 U-16女子日本代表(2018)



氏名 牛島 理子
所属 INAC神戸レオネッサ
年齢 20歳
代表歴 U-20女子日本代表(2018)



氏名 坂田 めぐ海
代表歴 なでしこジャパン(1989~1996)
指導歴 広島文教女子附属高校サッカー部
毎年高校総体・選手権県大会優勝



氏名 上野 真実
所属 愛媛FCレディース
年齢 23歳
代表歴 なでしこジャパン(2017)

代表歴		氏名	所属	
なでしこジャパン	2013	渡辺彩香	アルビレックス新潟	30歳
U-16日本女子代表	2011	染矢海優	ちふれASエルフェン埼玉	24歳
ユニバーシアード	2017	大竹麻友	スフィーダ世田谷	22歳
ユニバーシアード	2019	茨木美都葉	日本体育大学	21歳
U-17女子日本代表	2016	富田実侑	早稲田大学ア式蹴球部	20歳

12 スポンサーシップパッケージ 権利内容(案)



権利内容	特別協賛社
	1社
呼称権 「熊本県なでしこプロジェクト presented by ○○○」	プロジェクト名に追加
トレーニングシャツへのロゴ掲載 * 製作費必要	○参加者
ホームページの報告・募集ページへバナー掲載	大バナー
活動動画・写真の利用	○
ダイレクトマーケティング権利 女子全チーム及び選手・保護者・指導者へ	○年2回程度
表彰権利	MVP・得点・アシスト
協会祝賀会招待 11月23日	○招待2名
KFA NEWS 広告掲載(5,000部)	○年1回
協賛金額(トレーニングシャツ製作費別)	100万円

参加者数(予定)	
国体	20
U-17	20
U-15	30
U-14	30
U-13	30
U-12	50
U-11	50
School	50
合計	280

権利内容については、ご希望があれば、新たな内容を検討する事が出来ます。
御社にとっても当協会にとっても、より良い内容を考えます。

13 権利活用イメージ①(案)

呼称権

「熊本県なでしこプロジェクト Presents by ○○○○」

プロジェクト名に御社名または希望の愛称をつける

・選手、保護者、チーム関係者は大会を愛称で呼ぶ

トレーニング
シャツへの
ロゴ掲載

* 製作費別



イメージ画像



各カテゴリーの選手たちが、御社ロゴの入ったシャツにて活動を行います。
緑のグラウンドに、多くの女子選手達が「なでしこカラー」で活動をする姿は、遠くからでも認識でき、活気ある華やかな絵になります。
またトレーニング時は、もちろんのこと各チーム活動時、様々な場面でも着用してもらえます。

保護者(特にお母さん)向けセミナー



【保護者(母親)】

- ・家庭での意思決定者
- ・家庭の食事環境を担っている



ダイレクトに企業イメージを浸透できる

チーム代表者・指導者向けプレゼン

【チーム代表者・指導者】

- ・チームの意思決定者
- ・遠征等での休憩所、お弁当注文など



購入の仕組みづくり
・チーム向け商品発注書

